

## 田村市指定有形民俗文化財

### えま ばせき ず めん 絵馬「馬籍の図」(2面)



- ・時代  
嘉永2(1849)年
- ・寸法  
たて 145cm  
よこ 192cm
- ・絵師  
雲龍齋移岳

田村市船引町新館字下地内に所在する日渡神社は、もとは満願寺の観音堂で、天喜2(1054)年、暗夜に光明を放つ奇石が飛降したところに堂宇を建て、日渡観音と称したとの伝承があります。江戸時代には仙道三十三観音、田村円通三十三観音、田村姓氏三十三観音、三春領百観音それぞれの霊場地のひとつとなっていました。

また、馬の神様として篤く信奉され、社殿には数多くの絵馬が奉納されています。中でもこの2面の「馬籍の図」には、三春領西北部の26村880余頭の飼育馬が様々なポーズで描かれ、村名や飼主名も記されており、当時この地方で馬産が盛んにおこなわれていたことを物語ります。

これほど多くの馬が描かれている絵馬は県内でも珍しく貴重なものです。絵師の雲龍齋移岳は地元の絵師と思われませんが詳しいことは不明です。